

府立博物館等を核とする誘客促進事業 企画提案公募の質問への回答

No.	資料名称	項目番号	質問内容	回答
1	公募要領 P3	4-(2) 様式2	企画提案書（様式2）の「任意の別紙」は、A3横で蛇腹仕様でも良いか。また企画提案の内容(1)～(5)を纏めて「別紙のとおり」とし、別紙を冊子として提出しても良いか。	別紙の用紙サイズはA3横・蛇腹仕様で構いません。また提案を求める内容（1）～（5）を別紙として、企画提案書（様式2）の3ページ目以降にも纏めて綴じていただく場合、例えば提案を求める内容（1）は、別紙P. ●～●と記載いただくなど、各提案内容の別紙該当ページを対照しやすいよう、工夫してください。
2	公募要領 P6,7	7-(2)	審査基準表には、仕様書の提案内容に沿って審査項目や審査内容が掲載されているが、仕様書P5（4）効果検証・報告書作成の提案については採点基準と配点が示されていない。審査内容と配点を教えてほしい。	審査項目：業務内容に関する提案について、審査内容：全体コンセプト等、配点：10点の中で審査いたします。
3	仕様書 P1	5	誘客促進事業の対象博物館等の周辺に所在する文化観光資源のリストがあるようでしたら、ご共有ください。	大阪府内の文化財一覧は本課HPに掲載しておりますので以下URLよりご確認ください。 https://www.pref.osaka.lg.jp/o180150/bunkazaihogo/bunkazai/hunai-siteichiran.html
4	仕様書 P1,2	6.(1)	対象博物館等が、今までどのようなプロモーションや広告を行ってきたか。これまで交通広告、TVCMなどの実績はあるか。	弥生文化博物館と近つ飛鳥博物館は、各展示会、イベント開催にあわせ、ポスターやチラシを作成し、全国各地の博物館や府内の図書館・公民館・学校および主要観光案内所や近隣市町村の関係機関等に配布するほか、主にSNSを活用した自館からの情報発信を行っています。有料広告としては、特別展とイベントにかかる天王寺駅のデジタルサイネージへの広告掲出、SNS広告（近つ飛鳥博物館）の実績があります。さらに、弥生文化博物館では地域DMOである大阪観光局、KIX泉州ツーリズムビューローとの連携により各組織のSNSやウェブサイトへの情報掲載も行っています。 民家集落博物館は、2ヵ月毎の「催し案内」を作成し、広報リーフレットを北大阪急行電鉄の各駅、豊中市内の図書館・公民館・ホール、北摂の図書館・公民館等の施設に配布するほか、SNSや動画配信によりプロモーションをおこなっています。
5	仕様書 P2,3	6.(2)	コンテンツ作成は調査結果に基づいて検討するのが望ましいと考えるが、今回のスケジュールでは進行途中に明らかになった調査結果に応じてコンテンツを見直すことは難しいと考える。見直しの必要はないと捉えて良いか。	仕様書の「提案を求める内容（2）」に記載のとおり、提案段階ではコンテンツの具体的な内容ではなく、「素案」を複数お示しください。契約後大阪府と協議の上、必要に応じて、調査業務の成果を踏まえて誘客効果がより見込まれるコンテンツ内容を具体的に検討ください。そのうえで、選択されたコンテンツの試験的に実施いただきます。
6	仕様書 P3	6.(3)	「※②③のイベントは、「日本民家集落博物館」を対象に実施する。」とあるが、周遊イベントは、日本民家集落博物館を中心としていれば、他の弥生文化博物館・近つ飛鳥博物館の3館を周遊するようなイベントとして企画しても良いか。 それとも、日本民家集落博物館近隣で完結させた方が良いか。	どちらでも構いません。より効果的と思われる内容をご提案ください。
7	仕様書 P3	6.(3)-①	留意点に「インバウンド向けツアーのモニターは、日本に在住する外国人とすることも可能とする。ただしアジア圏及び欧米豪圏の中から偏りのないモニターを選定するなど、参加者の多様性を確保すること。」とあるが、調査の結果、ターゲットとすべき国やエリアがある程度見えるかと思う。今回は調査結果に関係なく、モニターを幅広く手配するべきということか。 それとも、調査結果を踏まえ、国籍を絞ったモニター募集とするのが良いか。	幅広くモニターを手配し、意見徴取により今後の誘客につなげていくことを想定しています。
8	仕様書 P3	6.(3)-①	モニターツアー提案は、たとえば国際交流ツアーを実施するような、国内旅行者向け・インバウンド向けを兼ねた内容でもよいでしょうか。	仕様書に示したとおり、対象施設毎に国内旅行者向け1つ以上、インバウンド向け1つ以上のモニターツアーであれば、国際交流ツアーの提案をいただいても構いません。

9	仕様書 P3	6.(3)-①	インバウンド向けモニターツアーにおいて、アジア圏・欧米豪圏すべてを対象とすべきか。	現時点では幅広くモニターを手配し、意見徴取により今後の誘客につなげていくことを想定しているため、モニターは幅広い国籍の方々をご提案ください。
10	仕様書 P3	6.(3)-①	海外在住外国人向けと日本国内居住外国人向けのツアーのいずれも実施可能の場合では、どちらを優先して実施したいか。	より効果的と思われる内容をご提案ください。
11	仕様書 P6	11	調査業務を受注者が再委託することを検討しており、調査内容を計画する事業者（A社）と、調査を実施する事業者（B社）が異なる。A社からB社への委託が、再々委託となるがこの体制は問題ないか。 受注者がB社に依頼をする形で、再委託まで留める必要があるか。	原則、再委託・再々委託をしてはならないこととなっております。ただし業務の主要な部分を再委託するものではなく、やむを得ないと認める部分については、契約後に再受託者、再々委託者、業務範囲、必要性、金額、履行体制に関する事項を記載した計画書を提出いただき、大阪府が承認した場合は可能です。
12	仕様書別紙 P1-3		各博物館来館者数の総数を示しているが、国内・インバウンドの内訳はあるか。	来館者総数のうち国内・インバウンドの内訳を示した資料は、公開していません。
13	仕様書別紙 P1-4		対象博物館等の来場者属性（年齢層、居住地、個人・団体比率等）や、学校の遠足や社会見学などの団体客がどの程度の割合を占めるのか。	大阪府立博物館等では利用者満足度調査を実施しており、アンケート回答者に限って、年齢層や居住地を確認できます。 ・大阪府立弥生文化博物館・大阪府立近つ飛鳥博物館 利用者満足度調査（H29～R5） https://www.pref.osaka.lg.jp/o180150/bunkazaihogo/jouhou/manzokudo.html ・日本民家集落博物館 利用者満足度調査（R5） https://www.occh.or.jp/minka/static/pdf/header/%E6%B0%91%E9%9B%86%E3%82%A2%E3%83%B3%E3%82%B1%E3%83%BC%E3%83%88%E9%9B%86%E8%A8%88R5%202023%E3%80%911018%E6%9B%B4%E6%96%B0.pdf 大阪府立博物館等では小学生を中心とした校外学習等の受け入れをおこなっています。これにかかる令和5年度の各博物館での実績は次の通りです。 ・大阪府立弥生文化博物館：4,536名 ・大阪府立近つ飛鳥博物館：2,085名 ・日本民家集落博物館：4,724名
14	仕様書別紙 P2,3		近つ飛鳥博物館の普及ゾーンと近つ飛鳥風土記の丘は無料のエリアだが、来館者数はどのように把握しているか。	風土記の丘入口と博物館入口に設置したセンサー式の来客カウンターで把握しています。